

整形外科学

A 欧 文

A-a

1. Sakimura K, Matsumoto T, Miyamoto C, Osaki M, Shindo H : Effects of insulin-like growth factor I on transforming growth factor beta1 induced chondrogenesis of synovium-derived mesenchymal stem cells cultured in a polyglycolic acid scaffold. Cells Tissues Organs 183: 55-61, 2006 (IF: 1.84) *○
2. Matsumoto T, Tsurumoto T, Shindo H : Interleukin-6 levels in synovial fluids of patients with rheumatoid arthritis correlated with the infiltration of inflammatory cells in synovial membrane. Rheumatol Int 26: 1096-1100, 2006 (IF: 1.070) *
3. Nishimura S, Tsurumoto T, Yonekura A, Adachi K, Shindo H : Antimicrobial susceptibility of Staphylococcus aureus and Staphylococcus epidermidis biofilms isolated from infected total hip arthroplasty cases. J Orthop Sci 11: 46-50, 2006 (IF: 0.614) *○
4. Tsurumoto T, Matsumoto T, Yonekura A, Shindo H : Nanobacteria-like particles in human arthritic synovial fluids. J Proteome Res 5: 1276-1278, 2006 (IF: 5.151) *

B 邦 文

B-a

1. 安達耕一, 弦本敏行, 米倉暁彦, 西村誠介, 進藤裕幸 : 細菌への暴露時間の差異における Biofilm 形成の定量. 日本骨・関節感染症研究会雑誌 19: 52-55, 2006
2. 和氣 聡, 榎本 寛, 岡野邦彦, 尾崎 誠, 穂積 晃, 進藤裕幸 : 大腿骨骨幹部骨折に合併した脂肪塞栓症の2例. 整形外科と災害外科 55: 135-138, 2006
3. 久芳昭一, 衛藤正雄, 馬場秀夫, 古川敬三, 光武聖史, 進藤裕幸 : 手術的治療を行った肩石灰性腱炎の検討. 整形外科と災害外科 55: 68-72, 2006
4. 松本智子, 弦本敏行, 進藤裕幸 : 関節リウマチの早期診断における抗CCP抗体の有用性. 日本リウマチ・関節外科学会雑誌 25: 19-23, 2006
5. 古川敬三, 衛藤正雄, 中原信一, 進藤裕幸 : SLAP Lesions の術前病型診断における MR Arthrography の有用性について. 肩関節 30: 379-382, 2006
6. 岡野邦彦, 榎本 寛, 尾崎 誠, 進藤裕幸 : 前・初期股関節症に対して行われた寛骨臼回転骨切り術における成績不良例の検討 術前骨頭変形の程度と外転位適合性との比較. Hip Joint 32: 1-4, 2006
7. 土井口祐一, 岡野邦彦, 高木基行, 進藤裕幸 : 白蓋形成不全例の骨盤形態についての検討. Hip Joint 32: 445-447, 2006
8. 岡野邦彦, 榎本 寛, 尾崎 誠, 進藤裕幸 : 寛骨臼回転骨切り術後におこなわれた人工股関節全置換術の治療成績. Hip Joint 32: 558-560, 2006
9. 高木基行, 岡野邦彦, 進藤裕幸, 土井口祐一 : 白蓋形成不全の両側例の頻度. Hip Joint 32: 593-594, 2006
10. 千葉 恒, 岡野邦彦, 進藤裕幸 : 変形性股関節症の大腿骨頭骨棘と白蓋骨棘の関連. Hip Joint 32: 595-598, 2006
11. 岡野邦彦, 榎本 寛, 尾崎 誠, 進藤裕幸 : 変形性股関節症における大腿骨頭骨棘形成の程度と大腿骨頸部前捻角との関連. Hip Joint 32: 599-601, 2006

B-b

1. 岡野邦彦, 土井口祐一, 千葉 恒, 進藤裕幸 : 【THA の脱臼と対策】骨盤傾斜と THA 術後脱臼. 関節外科 25: 431-436, 2006
2. 進藤裕幸 : 【特集 : 運動器リハビリテーションの現況と展望】総論. 関節外科 25: 595-596, 2006
3. 熊谷謙治, 鈴木暢彦, 村田雅和, 尾崎 誠, 宮田倫明, 進藤裕幸, 丹羽正美 : 【骨壊死 最新の診断と治療】基礎的アプローチ 原因に関する基礎研究 易卒中高血圧自然発症ラットを利用した大腿骨頭壊死症研究 一酸化窒素合成酵素阻害薬含有高コレステロール飼料とステロイドホルモン負荷. 別冊整形外科 48: 15-24, 2006
4. 米倉暁彦, 弦本敏行, 進藤裕幸 : 【運動器リハビリテーションの現況と展望】整形外科疾患と運動器リハビリテーション 変形性膝関節症のリハビリテーション. 関節外科 25: 654-658, 2006
5. 松本智子 : 【関節炎マーカーの基礎と臨床】Comp (cartilage oligomeric matrix protein). リウマチ科 35: 559-564, 2006
6. 衛藤正雄 : 【腱板損傷の診断と治療】腱板断裂の X 線検査 単純および造影. 関節外科 25: 936-943, 2006
7. 馬場秀夫, 安達耕一, 衛藤正雄, 進藤裕幸 : 【脊椎疾患における鑑別診断と治療法選択の根拠】治療法選択とその根拠 透析性脊椎症の術式選択とその根拠. 別冊整形外科 50: 239-244, 2006
8. 尾崎 誠, 熊谷謙治, 榎本 寛, 岡野邦彦, 穂積 晃, 進藤裕幸 : 【診断に難渋する骨・関節疾患】診断に難渋する

- 有痛性股関節疾患, 整形・災害外科 49: 1225-1233, 2006
 9. 弦本敏行: 最新学際情報 ナノバクテリアと石灰化, 関節外科 25: 1324-1325, 2006

B-c

1. 進藤裕幸: 【股関節疾患の診察と診断】 身体所見のとり方. (越智隆弘(編): 最新整形外科学大系 16 骨盤・股関節, 中山書店, 東京, pp. 83-96 所収) 2006
2. 衛藤正雄: CT スキャン. (越智隆弘(編): 最新整形外科学大系 13 肩関節・肩甲帯, 中山書店, 東京, pp. 58-64 所収) 2006
3. 衛藤正雄: 電機生理学的検査. (越智隆弘(編): 最新整形外科学大系 13 肩関節・肩甲帯, 中山書店, 東京, pp. 72-75 所収) 2006
4. 衛藤正雄: RI シンチグラフィ. (越智隆弘(編): 最新整形外科学大系 13 肩関節・肩甲帯, 中山書店, 東京, pp. 76-78 所収) 2006
5. 衛藤正雄: 鎖骨の疾患・外傷. (高岸憲二(編): 図説新肩の臨床, メジカルビュー社, 東京, pp. 136-142 所収) 2006
6. 弦本敏行: 整形外科領域の感染症が疑われたとき. (河野 茂, 平潟洋一(編): ベッドサイドで役立つ微生物検査ガイド, 文光堂, 東京, pp. 65-69 所収) 2006
7. 馬場秀夫, 進藤裕幸: 薬物療法とそのすすめ方. (和田 政(監): 産業保健ハンドブック 3 腰痛-臨床・予防管理・補償のすべて-, 産業医学振興財団, pp. 54-57 所収) 2006

B-d

1. 熊谷謙治, 村田雅和, 宮田倫明, 穂積 晃, 尾崎 誠, 進藤裕幸, 丹羽正美: SHRSF 大腿骨頭壊死に対する Pentosan 投与(2). 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 特発性大腿骨頭壊死症の予防と治療の標準化を目的とした総合研究 平成 17 年度 総括・分担研究報告書, pp. 20-23, 2006
2. 熊谷謙治, 村田雅和, 宮田倫明, 穂積 晃, 進藤裕幸, 丹羽正美: SHRSF 大腿骨頭壊死-高齢ラットを対象にして-. 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 特発性大腿骨頭壊死症の予防と治療の標準化を目的とした総合研究 平成 17 年度 総括・分担研究報告書, pp. 31-34, 2006

原著論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	合計	総計
2006	4	0	0	0	4	4	11	9	7	2	29	33

学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計	B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
2006	2	1	1	4	0	2	51	53	57

原著論文総数に係る教員生産係数一覧

	欧文論文総数 論文総数	教員生産係数 (欧文論文)	SCI 掲載論文数 欧文論文総数	教員生産係数 (SCI 掲載論文)
2006	0.121	0.444	1	0.444

Impact factor 値一覧

	Impact factor	教員当たり Impact factor	論文当たり Impact factor
2006	8.675	0.964	2.169